

第3回学校運営協議会（学校評価委員会） 報告

1. 期 日 令和6年3月8日（金） 13:30～15:00

2. 場 所 松江ろう学校（会議室）

3. 内容 [協議]

（1）教育相談の充実に向けた今後の取組について

○今年度の取組状況等(支援部)

○今年度の取組状況に関する委員からご意見等

- ・難聴学級等の横の繋がりがある子どもは、将来、自己理解、視野の広がり等について成長が見られる。教育相談の充実（センター的機能）を、引き続きお願いしたい。
- ・教育相談は、難聴の子どもだけの支援だけではなく、学校に勤める教職員への啓発及び支援の点からも重要である。
- ・乳幼児相談等、早い段階から教育相談を実施することで、保護者の不安感が大きく解消される。学校からの報告から、センター的機能がかなり充実されており、心強く感じる。
- ・教育相談の担当者が、相談に出やすい校内体制がきちんと整っている。また、最初に該当児童等がいる学校に、管理職とともに出向くことは、学校同士の関係作りとして有効である。
- ・日頃から情報交換や勉強会が大切だと感じる。
- ・様々な相談があるかと思うがその対応策は⇒担当者だけではなく、相談内容に対応できる校内教員との連携や、他の障がい種の特別支援学校とのネットワークを使いながら、教育相談を進めている。
- ・SSW等と協力しながら、センター的機能をもつ本校の役割は、とても大きい。

○学校運営等に関する意見の申出について（校長）

- ・教育相談担当として、新たに「言語聴覚士」（非常勤講師）を配置すること。
- ・「地域連携コーディネーター」を会計年度職員として配置すること。

○学校運営に関する具体的な意見

- ・「言語聴覚士」「地域連携コーディネーター」を配置することは、とても賛成であるが、言語聴覚士の資格取得者数が課題があるのでは。
- ・聴覚障がい専門の言語聴覚士は県内でも数少ない現状ではあるが、人工内耳装着者の家族で、目指される方も見られる。

[報告]

○学校評価について

[年度末評価結果、保護者アンケート結果、児童生徒アンケート結果]（教頭）

○令和5年度 重点目標の評価（校長）

○今年度の取組状況に関する委員からご意見等

- ・キャリア教育の観点から、聴覚障がい者の職業的歴史を学ぶことも大切である。
- ・松ろう祭当日のみの交流だけではなく、日頃から交流する機会を増やしたい。
- ・大学教育も学びの機会を開くという点から、整備が整っているので、障がい者の生徒も、どんどん挑戦してほしい。自分の殻に閉じこもることなく、総合的な探究の時間等などで、地域にどんどん出ていってほしい。